

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	60.0%	自校A B層の割合	65.0%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	51.0%	自校A B層の割合	60.3%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 「ユニバーサルデザイン」を取り入れた教室環境と授業の工夫・改善を行う。 校内研修会において研究授業を実施し、授業の改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教育活動を通して基本的な生活習慣を確立しつつ、学びのユニバーサルデザインも取り入れた自立した学びを可能とする環境を築く。 チャイム始業、チャイム終業を行い、規律ある授業を展開することで、高い学習効果を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> studyウィークを活用して、全生徒が学習に取り組む時間を設ける。 各教科において、必要に応じて課題を出すことにより、日々の家庭学習を実施できるようにする。
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援委員会を実施し、その際に支援が必要な生徒への支援について検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ミライシードを活用して学習が必要なところまで振り返り学習を行う支援をする。 	<ul style="list-style-type: none"> リモートの活用やミライシードを活用することにより、日々の家庭学習に遅れが出ないように配慮を行う。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 全教員でユニバーサルデザインを活用した授業等の工夫事例集を作成・共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 国学力調査の正答率を、都の平均値以上とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 全生徒が必要に応じてミライシードを全員が実施する。